

令和5年度 年度計画の概要

- 法人運営を軌道に乗せ、教職協働体制の確立など法人化を契機とした本学の更なる発展に向けたスタートを切るための土台づくりに注力
- 地域ニーズやこれまでの課題等を踏まえる中で、大学改革や将来像の議論・検討を開始

2021~2022

- 新たな法人体制への円滑な移行に向け、新理事長のガバナンス体制を整備
- 確固たる将来像を見据えながら更なる大学改革に取り組むため、引き続き、教職協働による議論・検討を積み上げ、その具現化に着手

2023

[新]…新規事業 [拡]…拡充事業 [継]…継続事業 【 】…第一期中期計画との整理番号

POINT

1 教育研究等の質の向上

○ 教育研究活動の推進

- [継] 両学部の特設教育科目の見直し【1】【2】
- [拡] 共通教育科目「データサイエンス基礎Ⅰ・Ⅱ」の新規開講【3】
- [新] 学生の学習スペースの充実に向けた、教職協働による検討【12】
- [拡] 基盤研究・重点研究制度の見直し【15】

○ 学生の確保・学生への支援

- [継] 高校訪問や多様な媒体を活用した効果的な入試広報の実施【19】
- [継] 社会人向け大学院パンフレット等を活用した大学院進学へのPR【21】
- [拡] オフィスアワーの強化【26】
- [拡] 就職支援に特化した就職支援システムの導入【27】

○ 地域連携の推進

- [拡] 新たな複合施設を活用した地域との研究交流の検討【28】
- [継] 公開講座の在り方の調査・研究【34】

POINT

2 業務運営の改善・効率化

○ 大学ガバナンスの構築・業務運営の高度化

- [拡] 法人・大学の懸案事項の議論の活性化【39】
- [拡] 職員配置の在り方やプロパー職員の採用など、大学改革や将来像の議論を踏まえた方針の策定【47】
- [拡] 電子決裁や一般選抜後期日程における受付順配席方式の導入【48】

POINT

3 自己点検・評価、情報提供

○ 教育研究活動等の改善・大学運営の透明性確保

- [継] 2022年度の認証評価受審で明らかになった課題等の要因分析、その改善に向けた取組の実施【53】
- [継] 法人情報の迅速かつ積極的な発信【54】

POINT

4 財務内容の改善

○ 自己収入の確保

- [継] 科研費獲得のためのインセンティブ制度の運用【56】
- [新] 貸し出す施設等の拡大や使用料の見直しなど、大学施設の更なる有効活用の検討【59】

○ 経費の抑制

- [継] 決算に基づく経費執行の点検【61】
- [継] コスト意識を高めるための研修会の実施【62】

POINT

5 その他

○ 施設や設備の整備・活用

- [拡] 新たな複合施設の具体的な活用策の教職協働による検討、2023年度入学生からのパソコン必携化を踏まえた学内パソコンの在り方の検討・必要な環境整備【63】
- [継] 附属図書館の図書の収蔵配置計画の策定【65】

目標指標

志願者数

1,303人 (2022年度) ▶ 1,420人 (2023年度)

標準修業年限4年内卒業率

91.6% (2022年度) ▶ 92.0% (2023年度)

就職希望者就職率

99.6% (2022年度) ▶ 100% (2023年度)

外部研究資金獲得件数

53件 (2022年度) ▶ 55件 (2023年度)